

第六十一回
帝國議會
貴族院
滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行

ニ關スル法律案

昭和七年勅令第四號

昭和七年勅令第七號

昭和七年勅令第六號

昭和七年勅令第十四號

昭和七年勅令第十九號

委員氏名

委員長

伯爵林 博太郎君

副委員長

大島 健一君

侯爵佐佐木行忠君

侯爵松平 康昌君

子爵青木 信光君

子爵井上匡四郎君

子爵立花 種忠君

男爵松井慶四郎君

内田 嘉吉君

内田 重成君

男爵千田 嘉平君

男爵郷 誠之助君

男爵小畑大太郎君

片岡 直溫君

馬場 鏌一君

林 平四郎君

磯村豐太郎君

本間千代吉君

昭和七年三月二十四日(木曜日)午前十時
九分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ滿洲事

件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル

法律案外五件ヲ一括イタシマシテ特別委員

會ヲ開會イタシマス、初ニ大藏大臣ヨリ御

説明ヲ煩シマス……御説明ハ省略シテ宜シ

ウゴザイマスカ、或ハ簡單ニ説明ヲ願ヒマ

セウカ

○片岡直溫君 概要ダケデモ……

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ概要

ヲ……

○政府委員(藤井眞信君) ソレデハ便宜私

ヨリ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發

行ニ關スル法律案ノ概要ヲ御説明申上ゲマ

ス、昨日本議場デ大藏大臣ヨリ御説明申上

ゲタノデ、内容ハ盡キテ居ルノデアリマス

ガ、數字ニ付キマシテ更ニ私ヨリ概要ヲ申

上ゲマス、此議會ニ提案イタシマシテ、既

ニ貴族院ニ於テハ昨日御決議ニナリマシタ

滿洲事件費ニ關スル經費ノ中、六年度ノ追

加豫算ガ七百五十七万九千六百六十一圓ニ

ナッテ居リマス、ソレカラ滿洲事件費ノ七年

度ノ追加豫算ガ、一般會計ニ於キマス分ガ

五千九百五十一万九千八百八十五圓ニナッテ居

リマス、此七百五十七万九千餘圓ト五千九

百五十一万九千餘圓トヲ合計イタシマスト六

千七百九万八千餘圓ニナルノデアリマス、

ソレト其外ノ特別會計ノ關東廳特別會計ニ

於テ滿洲事件ノ爲ニ要スル經費ガ、七年度

ノ追加豫算ト致シマシテ三十五万四千二百

三十六圓アリマスノデ、此三ツヲ合計イタ

シマスト、六年度ノ追加豫算ノ分ト七年度

ノ一般會計及關東廳特別會計ノ追加豫算ノ

分ヲ合計イタシマシテ、六千七百四十五万

二千四百八十二圓トナルノデアリマス、此

豫算ニ付キマシテハ既ニ昨日御決議ニナッ

テ居リマスガ、其財源ト致シマシテ、今日

ノ歳計ノ狀況ニ於キマシテハ他ニ途ヲ求メ

ルコトハ困難デアリマシテ、公債ニ依ルノ

外方法ガナイト云フ狀態デアリマス、之ヲ公

債トシテ發行スルノ權限ヲ得タイト云フノガ

此法律案ノ趣旨デアリマス、ソレデ只今申上

ゲマシタ六千七百四十五万二千餘圓ト云フ

ノヲ便宜切リ上ゲマシテ、此法律案ト致シ

マシテハ六千七百五十万圓ト云フコトニ致

シテ居ルノデアリマス、尙ホ昨日大藏大臣

ヨリ本議場ニ御説明ハアッタノデアリマス

ガ、此七年度ノ追加豫算ハ一般會計ノ分ニ付

キマシテモ、特別會計ノ分ニ付キマシテモ、

共ニ次ノ臨時議會マデニ要スル經費、即チ

昭和七年度ノ四月、五月ノ二箇月分ヲ豫定

イタシテ居ルノデアリマシテ、其以後ノ經

費ニ付キマシテハ、次ニ開カレマス臨時議

會ニ於テ更ニ御要求イタシマシテ、御協賛

ヲ仰ギタイ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、

ソレカラ次ニ滿洲事變ニ關スル緊急處分ノ

承諾ヲ求ムル件ガ三件アリマスガ、其三件

ニ付キマシテ、便宜、私ヨリ極ク概要ダケヲ

申上ゲマス、昨年ノ九月十八日ニ滿洲ニ於

ケル事變ガ勃發イタシマシテ、ソレカラ以

來此滿洲事變ニ關スル經費支出ノ爲ニ政府

ト致シマシテハ、差當リ六年度ノ歳出豫算

ノ節約ヲ致シタ金額ガアリマシタノデ、此

節約ヲ一部復活イタシマシテ、又第二豫備

金ヲ以テ出來ルダケノ支出ヲ致シマシテ、

經費ヲ支出シテ參ッタノデアリマスガ、到

底是等ノ節約ノ復活、第二豫備金ノ支出等
デハ不足イタシマシタノデ、已ムヲ得ズ當
時必要ト考ヘマシタ二千九十一萬圓ノ滿洲
事件費支辨ニ關スル公債發行ノ法律案ヲ前
議會ニ提案イタシタノデアリマスガ、御承
知ノ如ク衆議院ガ解散ヲ命ゼラレマシテ、
此法律案ガ不成立ニナリマシタガ、併ナガ
ラ此經費ハ緊急缺クコトノ出來ナイ經費デ
アリマシタノデ、已ムヲ得ズ財政上ノ緊急
處分ヲ仰ギマシテ、二千九十一萬圓ノ、丁
度議會ニ提案イタシマシタ同額ノ公債ヲ
發行スル權限ヲ得ルコトニナッタノデアリ
マス、所ガ其後更ニ上海方面ニ於ケル事件
ノ發展竝ニ滿洲ニ於ケル事情ノ變化ニ伴ヒ
マシテ、滿洲事件ノ爲ニ經費ノ増額ヲ要ス
ルコトニナリマシタ、到底之ヲ、此議會ノ
開會ヲ待ツコトガ出來ナイト云フ狀態ニア
リマシタノデ、更ニ第二回ノ緊急處分ニ關
スル勅令ノ公布ヲ仰イダノデアリマス、ソ
レデ其金額ガ三千三百八十餘萬圓ニナル見
込デアリマシタノデ、緊急處分ノ金額ト致
シマシテハ、三千四百萬圓ノ公債發行ノ勅
令ノ公布ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、所ガ
其後ニ至リマシテ、更ニ又上海方面ニ於ケ
ル事態ノ變化ニ伴ヒマシテ、陸海軍ニ於テ
經費ノ増額ヲ要スルモノガ出テ參リマシ

タ、已ムヲ得ズ更ニ第三回ノ緊急處分ト致
シマシテ、公債發行ノ權限ヲ得ルコトニ取
計ッタノデアリマス、其當時ノ見込ノ金額ハ
千四百九十六萬餘圓ト云フ數字ガ出マシタ
ノデ、公債發行ノ權限ト、致シマシテハ千
五百萬圓ノ發行ガ出來ルヤウニ致シマシ
テ、勅令ノ公布ヲ仰イダノデアリマス、第
一回、第二回、第三回ノ緊急處分ノ金額ヲ合
計イタシマス、六千九百七十一萬餘圓ニ
ナルノデアリマス、固ヨリ政府ト致シマシ
テハ、出來ルダケ事件ノ發展ヲ避ケル方策
ヲ取ツテ居リマシタノデ、且ツ一面ニハ議會
ノ協贊ヲ經ズシテ緊急處分ヲ仰グト云フ
狀態デアリマシタノデ、成ルベク金額ヲ多
ク致サナイヤウニ努メテ參ッタノデアリマ
ス、第一回ハ前議會ニ提案イタシタ通りノ
金額ヲ緊急處分トシテ仰イダノデアリマス
ガ、其後順次只今申上ゲマシタヤウナ事態
ノ變化ニ伴ヒマシテ、已ムヲ得ズ第二回、
第三回ノ緊急處分ヲ仰ガナケレバナラヌヤ
ウナ狀態ニ立至リマシテ、只今申上ゲタヤ
ウナ六千九百七十餘萬ノ公債發行ノ權限ヲ
憲法第七十條ノ緊急處分ニ依ッテ得タ、斯ウ
云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、全ク
已ムヲ得ナカッタ次第デアアルノデアリマス、
詳シイコトハ昨日大藏大臣ヨリノ御説明ニ

盡キテ居ルノデアリマスカラ、數字ノ極ク
概要ニ付キマシテ是ダケノコトヲ申上ゲマ
シテ、更ニ御尋ニ付キマシテ申上ゲマス
○國務大臣(高橋是清君) 國債償還資金ノ
繰入ヲ一部停止イタシマシタ勅令第七號ノ
事後承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ、昨日本議
場デ説明ハ致シマシタノデアリマスガ、此
際私ヨリ極ク簡單ニ申上ゲマス、昭和六年
度一般會計ニ於キマス豫算ノ實行ニ付テ
見マス、約六千四百萬圓ノ歲入不足ヲ生
ズル狀況デアリマス、所謂赤字公債ガ出ル
ト云フヤウナ狀況デアッタノデアリマシテ、
是ハ今マデ會テ我國ニハサウ云フコトハ無
カッタノデアリマスガ、成ルベク赤字ノ出ナ
イヤウニ都合ヲ致シタノデアリマス、ソレ
ガ爲ニ電信或ハ道路其他震災善後處理、是
ハモウ既ニ公債デ支辨スルコトニ法律ガ
ナッテ居ル、此法律ニ依レバ公債ヲ募集スル
コトト致シテ、他ニ二千餘萬ノ財源ヲ得ル
コトニナリマシタ、而シテ減債基金ヲ一般
會計カラ特別會計ニ繰入レマス金高ノ中、
四千四百萬圓ノ繰入停止ヲ行ヘバ赤字ニナ
ル六千四百萬圓ヲ補填スルコトガ出來ルノ
デアリマス、サウ云フ目的デ此繰入停止ヲ、
四千四百萬圓ヲ限ッテ一般會計ヨリ繰入ヲ
停止スルト云フコトニ致シタ勅令デアリ

マス、若シ之ヲ填補シナイデ置キマス、ト云
フト、是ハ會計制度ノ制定以來未ダ會テ無
イコトデアリマシテ、ドウシテモ我國ノ會
計年度ニ於ケル歲出ハ、其ノ年度ニ於ケル
歲入ヲ以テ支辨スベキコト會計法第三條
ニ規定セラレテ居ル、ソレガ爲メ斯様手
段ヲ採ラズニ置ケバ、勢ヒ政府ノ義務トス
ル支拂マデモ停止シナケレバナラヌト云フ
ヤウナコトニナリマス、又議會解散後デ
アリマシタカラ、已ムヲ得ズ憲法第八條第
一項ニ依リマシテ、勅令ノ公布方ヲ奏請シ
タノデアリマス、而シテ此勅令ハ將來尙ホ
此效力ヲ存續セシムルコトノ必要ガアリマ
スノデ、之ガ承諾ヲ求ムル爲ニ提案シタ譯
デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○委員長(伯爵林博太郎君) ドウゾ御質問
ノ方ハ……第四號ハ……
○國務大臣(高橋是清君) 勅令第四號ノ方
ノ御説明ヲ申シマス、是ハ政府ハ金ノ輸出
禁止ヲ行ヒマシテ、此事ガ時局ヲ匡救スル
急務ナルヲ認メマシテ、昨年十二月十三日
組閣ノ劈頭ニ於テ、其爲ニ大藏省令ヲ公布
シタノデアリマス、併シ日本銀行初メ其他
發券ノ權利ヲ持ッテ居ル銀行ノ金貨兌換ニ
關シマスル規定ヲ其儘トシテ置キマス、ト、
兌換ノ要求ハ矢張り受ケナケレバナラヌノ

デアリマス、サウシマス、正貨準備ハ更ニ減少スル、又當時ノ正貨準備ノ保有高ニ照シテ見マシテモ、此上減ルコトハ憂慮ニ堪ヘナイモノト考ヘマシテ、又十二月十一日以來金輸出ノ取締ヲスル省令ノ出マス

前、十一日以來日本銀行ニ對シテ金兌換ヲ要求スルモノガ店頭ニ群集シテ参リ、甚ダ穩カナラザル情勢デアリマシタ、故ニ政府ハ金輸出制限ノ趣旨ヲ徹底スル爲、正貨準備ヲ擁護スルト共ニ、又此人心ノ動搖ヲ防

グ爲ニ、帝國憲法第八條第一項ニ依リマシテ、銀行券ノ金貨兌換ヲ一般ノ禁止スル緊急勅令ノ公布ヲ奏請ヲ致シテ、ソレガ昭

和六年度ノ勅令第二百九十一號ノ公布ヲ見ルニ至ッタデアリマス、此勅令モ第六十回帝國議會ニ提出シテアッタノデアリマス

ガ、衆議院解散ノ爲ニ、議會ノ承諾ヲ得ルニ至ラナカッタ爲ニ昭和七年勅令第三號ヲ以テ將來ニ向ッテ其效力ヲ失フコトヲ公布

セラレマシタ、然ルニ此勅令ノ内容トスル規定ハ財界ノ狀況ニ鑑ミマシテ尙ホ引續キ效力ヲ有セシムル必要ガアリマスノデ、帝

國憲法第八條第一項ニ依リマシテ同一ノ規定ヲ内容トスル昭和七年勅令第四號ノ公布ヲ奏請シタ次第デアリマス、而シテ本勅令

ハ將來尙ホ其效力ヲ有セシムル必要ガアリ

マスノデ、帝國憲法第八條第二項ノ命ズル所ニ從ヒマシテ、帝國議會ノ承諾ヲ求メル爲ニ茲ニ之ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ大體ニ付テノ藏相ノ御説明モ濟ミマシタ次第デアリマスカラ御質問ヲ願ヒマス

○片岡直溫君 私ハ此各案ノ數字ニ付テ別ニ異議ヲ持ツ者デアリマセヌ、又金輸出再

禁止ヲ斷行セラレマシタ以上ハ、兌換ノ中止ヲセラレルコトモ是モ亦當然ノ事デアリマシテ、誠ニ已ムヲ得ザル次第ト存ジマス、

唯私ノ御質問ヲ申上ゲタイト存ジマスコトハ、今日ノ財界ノ狀態ニ照シテ將來ヲ考ヘマスト、極メテ不安デアアルノデアリマス、

經濟界ノ實情ニ於キマシテモ、今大藏大臣ノ御説明モゴザイマシタヤウニ、金輸出再禁止ガ財界當面ニ處スル一ツノ緩和策トシテ行ハレマシタコトハ當時ノ御説明ニモ

承ッタノデアリマスガ、實際ノ狀況ハドウモ其御意思ニ副ウテ居ルヤウニモ見受ラレナイノデアリマス、又金融ノ狀態等ヲ見マシ

テモ、今新聞紙上ニハ實際ノ記事ガ載リマセヌカラ餘リ騷イデ居ルヤウナ狀況ハ見エマセヌガ、關西方面等ニ於キマシテハ、名

古屋ヲ始メ岐阜、京都等、小銀行ハ固ヨリ、可ナリ相當ノ預金ヲ持ッテ居ッタ者デ、昨今閉鎖ヲ致シテ居ル者モ少ナクナイノデアリマス、ソレデ何卒幾分ニテモ不安ノ念ヲ去ルヤウニシタイト云フコトガ私ノ質問ヲ致

ス所ノ要旨デアッテ、本案ニ對スル反對ノ意思デハ毛頭ナイノデアリマス、豫メ其事ヲ當局者ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス、此

金輸出再禁止後爲替ハ著シク暴落ヲ告ゲテ、一日ニ一弗以上ノ上下ヲスルト云フヤ

ウナ狀態ガ屢、繰返サレテ居ルノデアリマシテ、是モ貿易ノ上ニハ極メテ不安ノ甚シイモノデアリマス、ドウカシテ之ヲ安定セシムル必要ガアルト存ジマスガ、是以テナカ

ナカロニ言フコトハ易イノデアリマスガ、實行上ハ可ナリ面倒ナコトダと思ヒマス

ガ、政府トシテ、我方國力ノ實際ニ照シテ、爲替相場ハドノ位ノ程度ガ相當ト云フ見當ヲ御持チニナッテ居リマスガ、又之ヲ安定セシムルニ對シテ何等カノ方策ヲ御考究ニ

ナッテ居ルデアリマセウカ、先ヅソレカラ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(高橋是清君) 誠ニ御尤ナ御心配デ、片岡委員カラノ御尋デアリマスガ、要スルニ地方デハ金融ガ梗塞シテ居ル、金融ノ困難ガアル、再禁止以來爲替ノ變動ガ

甚シイガ、之ニ付テドノ位ノ所ニ爲替相場ヲ安定セシムルト云フ見當ガアルカ、又其安定セシムル方法如何ト云フ御尋ノヤウニ承ッタノデアリマス、地方バカリデナク、都會ニ於テモ金融ガ梗塞シテ事業ヲ營ム者、

商賣ヲスル者、農民ニ至ル迄、悉ク難儀ヲシテ居ルコトハ事實デアリマス、之ニ對シテ政府當局ノ考ヘマス所デハ、兎ニ角我國

ノ金融機關ト云フモノガ、統制ノ力ガ無クナリ、連絡ト云フモノガ無クナッテ居ル、加

フルニ緊縮政策ノ下ニ銀行ガ皆用心ヲシテ貸出ヲ控ヘテ居ル、事業家ハ發展スル爲ニ當テニシテ居ル金融モ得ラレヌト云フ困

難ガ續イテ參ッタノデアリマス、ソコデ金ノ解禁ヲシタ以來ノ金融ノ政策ハ成ルベク金ヲ使ハセナイヤウニシテ、サウシテ金利ヲ

高クスル、サウシテ金本位ヲ維持シヤウト云フ方ニ努メテ來タ、是ガ抑、前内閣ノ方針ト現内閣ノ方針ト根本ニ違ッテ居ル點デアリマシテ、現内閣ハアノ儘ニシテ置イタ

ナラ、年ノ暮又ハ舊節季ニ至ッテドウ云フ風ナ情勢ニナルカモ知レヌ、單リ唯經濟上バカリデハナイ、全體ノ多數ノ人ノ生活難

ニ面シテ來テ居ル、思想上ニモ亦由々シキコトガ起ルダラウト云フコトヲ心配ヲシテ、金本位維持ヲ續ケテ行クコトハ如何ニ

シテモ出來ナイ、而シテ是ガ抑、亦禍ヲ爲シタ大イナルモノデアルト云フコトカラシテ、直グニ禁止ヲシタノデアリマス、此禁止ヲシタコトハ、爲替相場ニ依テ外國貿易ニ重キヲ置クヨリハ、今日ハ世界ノ大勢ヲ見マシテモ、各國共ニ先ヅ内ヲ整ヘルコトが必要ニナツテ來テ居ル、國內産業ヲ發達サセ、其自力ニ依テ自ラ爲替相場ト云フモノガ定マルベキ所ニ定マルノガ當然デアアル、人爲的、或ハ一時政策、或ハ他國カラ金ヲ借りテ、以テ一國ノ金本位ヲ維持スルト云フコトハ抑、誤リデアアル、爲替相場ハ其國ノ産業ノ充實シタ力ガ之ヲ支ヘルモノデアツテ、他ニ支ヘルモノハナイノデアアル、茲ニ於テ外ヲ第一トシタノヲ、内ヲ第一ニスルト云フコトニ變テノガ根本デアアル、之ニ依テ直ニ我經濟界ガ……財界ガ好轉スルトハ未ダ會テ言ウタコトハナイ、如何ニ惡クナルカト云フコトヲ喰止メ、而シテ此病人ヲ手當テヲシテ、段々ト恢復サシテ行クト云フノガ主デアリマス、ソレ故ニ禁止ヲシタ直グニ景氣ガ直ルト世間デハ往々言フノヲ私ハ却テ警メテ來タノデアリマス、マダ月モ淺イ今日ニ於テ、直グニ金ノ輸出ヲ禁止シタカラト云ツテ、財界ノ景氣ガ直ニ好轉スルト云フコトハ是ハ望ミ得ラレナイコ

トデアリマス、併ナガラ前途何時迄モ暗闇デアアル、先ガ見エヌト云フモノニ、多少ソコニ光ヲ與ヘタト云フ效果ハアツタヤウニ私ハ信ズルノデアリマス、國民ガ前途ニ明リヲ見マスレバ全體ノ氣分ガ違テ、農商工共ニ働クニ先ヅ甲斐ガアルト云フ位ノ變化ハ起ラウ、ソコデ第二ニハサウ云フ氣分ガ國民ニ起ル時ニ於テ、從來ノ如ク金融ガ梗塞ヲシテ居テハ發展スル手段ガナクナルノデアアル、成ルベク通貨ヲ……矢張り足リナイ通貨デアリマスカラ、此足リナイ通貨ヲ足シテ行ク、殖ヤシテ行ク、併シ之ニモ警戒ヲシナケレバナラヌ點ハ、此殖ヤシテ行ク通貨ガ農商工ノ正當ナ取引ノ爲ノ必要ナ部分ニ向テ行クノハ、是ハ健全ナ「インフレーション」デアアル、通貨膨脹デアアル、若シ是ガ投機思惑ノ方ニ勢ヲ附ケテ此方ニ向フト云フコトニナレバ、寧ロ害ガアルト言ハネバナラヌ、其危險ハ餘程金融ノ上ニ付テハ考慮シテ行カネバナラスト考ヘル、ソレニ付テ先ヅ第一ニ必要ナノハ今日ノ如ク我國ニ中央銀行ガアツテ、其外ニ澤山ノ特殊銀行モアリ、普通銀行モ澤山アル、其金融機關ガドウモ十分ニ其連絡ガ取レテ居ラナイ、中央銀行タルモノニ對シテ、私立ノ大銀行等ハ之ニ向テ金ヲ借りルノヲ恥ヂタ、或ハ感

情ト云ヒマスカ、御世話ニナラスト云フヤウナ立場デ來テ居ル、ソレ故ニ金ガ要ルト云フ……銀行ニ金ガ要ルトナレバ、詰リ預金ガソレ程殖エナイ、既ニ貸シタモノヲ成ルタケ返サシテ、日々ノ用ヲ……新規ノ事業ノ用ニ充テネバナラスト云フ状態ニナツテ居ル、ソレカラ預金ノ減ルト云フノモ、大體申セバ是ハ全體ノ國民ノ收益ガ減タノデアアル、造レバ損ヲスル、賣レバ損ヲスルト云フヤウナコトガ續イタ、故ニ豫テ貯金ヲシテ居タ者ハ、其日ノ生活ニ其貯蓄ヲシテ使ハネバナラスト云フコトモナカ……多イノデアアル、自分達ノ賣ル物ハ利潤ガナクトモ、租稅公課總テサウ云フ負擔ハシテ行カネバナラヌ、預金ハ寧ロ減ル一方デアアル、殖エルト云フ傾ハ無イノデアアル、何シテモ金融ヲ圓滑ニシテ、加フルニ此金利ヲ下ゲテ農工商總テノ取引ノ圓滿ニ進ムヤウ、基礎的ニ經濟ノ計畫ヲ立テ行クト云フノガ根本デアリマスカラ、其方ニ向テ進マントシテ居ルノデアリマス、ソレカラ爲替相場ノ動搖ハ、是ハ金ヲ解禁シタリ、ソレカラ禁止シタリスル場合ニ於テハドウシテモ免レナイ、大變動ガアルコトハ……然ラバ今御尋ノ通り政府ハドノ邊ニ此爲替相場ヲ安定セシムル考ヘデアアルカ、又之ヲ安定セシ

ムルノ方策ハドウカト云フ御尋デアリマス、金解禁前ニハ、我國ノ爲替相場ハ即チ金ノ輸出ヲ禁ジテ居タ時代ニ於テ爲替相場モ常ニ多少動イテ居リマシタガ、併シマア大抵四十三四弗ノ所ヲ維持シテ居タ、或時ニハ三十五六弗マデ下ツタコトモアリマスガ、此下ツタノハ貿易關係ヨリハ寧ロ此間ニテ於テ爲替相場ト云フ機關ガ出來テ、正金銀行ノ貿易上ノ爲替相場ト常ニ離レテ民間デ一ツノサウ云フ相場、必要ノナイ相場、博奕同様ナモノガアツテ、ソレガ爲ニニ通りノ爲替相場ガ立タ爲ニ始終變動ガ多カッタガ、サウ云フコトガナクシテ以來著シイ變動ナクシテ維持サレテ居タノデス、是ハ畢竟即チ國家ノ産業ノ力、即チ我ガ國民ノ購買力ガ之ヲ維持シテ居タノデアリマス、今日爲替相場ガ下ガリマシタノハ金本位ノモノガ俄ニ禁止ニナツタ爲ト、ソコヘ矢張り思惑モ餘程アリマシタラウガ、此金解禁ニナツタ以來ノ我國ノ資本ノ動キ方ト云フモノハ、先ヅ第一ニ外國人ガ銀行其他事業商賣等デ我國ニ於テ自分達ノ國カラ持テ來タ資本ヲ留メテ置イテ働カシテ居タモノガ四億乃至五億アツタ、先ヅサウ云フモノガ先キヘ逃ゲテ行キマシテ、ソレカラ貿易商人、輸入商人ナドハ、今ノ内、圓價

ノ高イ時ニ外國貨幣ニ之ヲ直シテ置ク方
ガ、輸入品ノ代金ヲ拂フ時ニ大ニ便ナリ
トシテ、所謂弗買ト云フモノガ始マリマシ
タ、此弗買ノ中ニハ、矢張り投機思惑
ト云フコトガ、何事ニ付テモ附添ウテアル
モノデアリマスカラ、アッタニ違ヒナイ、
現ニ輸入品ノ代價ヲ拂フ、サウ云フコトヲ
何故シタカト云フト、外國ノ實例ニ明ルイ
人、或ハ平生斯ウ云フコトニ關係ノアル人
ハ、日本ガアノ情勢ニ於テ果シテ永久ニ金
本位ヲ維持出來ルモノデアルカナイカト云
フコトヲ見分ケルコトガ出來ルノデアリマ
ス、第一番ニ疑タノハ外國人ガ疑タ、日
本ノ人モ斯ウ云フ取引關係ガアッテ、外國ノ
事ヲ見テ居ル人ハ、矢張りサウ見タ人モア
ル、併シロニハ何モ言ハヌ、ソレデ弗買ト
云フモノガ盛ニ行ハレタ、之ニ向テ統制運
動ヲサシテ、我國ノ金貨ガ七億ニナッテ、ソ
レハ今ノ所デハ外國銀行、其他外國人ガ其
國ノ資本ヲ我國ニ使ッテ居ルト云フコト
ハ誠ニ少ナイ、嘗テハ四億五億モアッタモノ
ガ、今日デハ三億以上出テ行ッテ、行ッタダ
ケ戻テ來ナイヤウニ私ハ思フ、ソレダケ内
地ノ金融ガ梗塞シタニ違ヒナイ、ソレデ此
爲替相場ノ安定ノ見込ハ、今日容易ニ是ハ
立タヌノデス、立タヌト云フモノハ、唯是

ガ純然タル經濟上ノ事情ノ爲ニ支配サレテ
居ル經濟界ナラバ、金融界ナラバ、マダ見
込ノ立易イ點モアリマスケレドモ、何分此
滿洲事件、上海事件、斯ウ云フモノニ付テ、
政治上、軍事上ト云フモノガ矢張り經濟ノ
事柄ヲ支配スル力ヲ持ツコトニナッテ來テ
居ル、是ハ免レヌ、サウ云フ複雑シタ關係
ガアリマスカラシテ、經濟界ノ病氣ヲ癒ス
ト云フ處方ニ付テモ十分ニ行カズ、遅レ勝
チニナルト云フコトモ免レナイ、ソレデア
リマスカラシテ、ドノ位ニ此爲替相場ヲ安
定サセル積リデアアルカト云フ御尋ニ對シマ
シテハ、今日ハ其考ハ持ッテ居ラヌト斯ウ
申上ゲル外ハナイ、而シテ方策ハドウカト
云フコトニナリマスルト、是ハ矢張り前申
ス通り、自分ノ、自力ノ、力デ行カネバナ
ラヌ、一時「クレディット」ヲ設定シタリ、外
國ニ借財ナドシタリシテ、サウ云フコトデ
維持出來ルモノデナイ、自國ノ力デヤラナ
ケレバナラヌ、其力ハ何カト云フト、我國
ノ產業ノ力ニ依ル外ハナイ、此内ノ產業ヲ
發展サシテ行ク、之ヲ培ウテ行クヨリ方法
ハナイト考ヘテ居リマス

○片岡直溫君 御説明ノ中ニハ、私ノ腑ニ
落チヌ所モアリマスガ、一切意見ハ拔キニ
シマシテ、唯質問ノ要旨ヲ得ルコトニナレ
バ宜イト思ヒマス、要スルニ爲替相場ノ安
定ト云フコトハ今ノ所デハ見當ガ付カヌ、
ソレニ對スル方策モ、マダ定メ得ナイ、斯
ウ云フコトニ相成ルヤウデアリマス、其御
説明中ニ外ニ向ッテ考ヘルヨリハ、先ヅ以
テ内ヲ整ヘル、此御趣意ハ明カニナッテ居
ルノデアリマスガ、此内ヲ整ヘル上ニ付テ
ハ、現狀ガ先刻私ガ申上ゲマシタヤウニ、
國民ノ必需品ハ多少値段モ上ッテ居リマス、
賣レモシマスガ、大體ニ於テ購買力ト云フ
モノガサッパリ生ジテ居ナイ、ソレ故爲替相
場ノ關係上ヨリ考ヘテ來レバ、當然物價ガ
高クナルベキモノニシテモ、高クナラヌノ
ガ、現在ノ狀態デアリマス、畢竟スルニ、
物ヲ拵ヘヤウトシテモ原料ガ存外高イ、而
シテ高イ物ヲ拵ヘテ賣レナイ、ソレ故ニ拵
ヘナイ、ソレカラ又拵ヘルニ付テノ資金ヲ
求メヤウトシテモ、何處モ貸シテ呉レナイ、
貸サナイノハ、是ハ無理モナイ、何レノ銀
行モ預金ハ減ル一方デアリマス、減ルニ付
テノ見解ハ各、見ル所ガアリマセウガ、畢
竟不換紙幣トナレバ追ミ不換紙幣ノ増加ニ
從ッテ、紙幣其モノノ價格ガ下落シテ來ル、
ソレヨリハ今ノ内ニ物ニ代ヘテ置イタ方ガ
宜イ、物ニ代ヘルニ付テハ將來ノ產業ノ基礎
トナルモノニ代ヘルノモアリマセウガ、マ

ア辛抱シテ居ッタモノヲ、ソレヲ產出シテ行
カウ、斯ウ云フヤウニ用キテ居ルモノガ多
分ニアルヤウニ思フ、ソコデ預金ガ減ル、
預金ガ減レバ貸出ハ益、出來ナイ、ソコヘ
持ッテ來テ昨年ノ十二月ノ末頃カラ始マッ
テ小恐慌、ト申シテモ宜カラウト思フ、ソレ
カラ昨今ニ於ケル……私ハ殊更ニ銀行名等
ハ擧ゲマセヌガ、可ナリ多數ノ銀行ガ門ヲ
閉メテ居ル、内ヲ整ヘルニ付テハ是等金融
機關ガ何トカ働キノ付クヤウニシテヤラナ
ケレバナナルマイト思フ、ソレニ付テハ何等
カ日本銀行ヲシテ救済セシメルトカ、何カ
ソコニ御考案ヲ御持チデアアルノデアリマス
カ、是モ亦モウ今暫ク自省セシムル爲ニ放ッ
テ置ク、斯ウ云フ御考デアリマスカ
○國務大臣(高橋是清君) ソレハ手ヲ著ケ
ル勿論考デアリマス、併シ是ハ法律規則命
令デ行ク譯ノモノデアリマセヌカラ、是迄
ノ彼等ノ互ニ聯絡ヲ爲シ、サウシテ、得意
先ノ都合モ圖ラズニヤッテ來テ居ル、サウ云
フコトヲ改メサセル、ソレニ付テハ兎ニ角
中央銀行ト云フモノニ全國金融ノ統制ノ力
ヲ持タセル、如何ニシテ之ヲ持タセルカト
云フコトモ考ヘテ居リマス、ソレカラ兌換
券ノ發行高ニ付テモ、御覽ノ通り、誠ニ少
クナッテ居リマス、詰リ通貨ガ減ッテ居ル

ト云フコトモ一ツノ病デアリマス、通貨ガ減ル位デアリマスカラ、無論商賣上ノ取引ニ付テモ、信用ガ殆ド絶無ト云フテモ宜位デアリマス、通貨ガ十分ニナリ、其營ム所ノモノガ、皆榮エテ行キ、茲ニ信用ト云フモノガ起テ來ルト通貨以上ノ働キヲスル、其信用ガ今日ナクナッテ居ル、此信用ヲ起サセル、作ラセル所ノ手段モ其地方ニ付テ考ヘナケレバナラス、サウ云フコトハ考ヘテ置カナケレバナラス

○片岡直溫君 是ハ相當御考慮ニナッテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、ソレヲ今ドウ云フヤウニ御考ヘニナッテ居ルカト云フコトヲ私ハ此際ハ追究ハ致シマセヌ、唯、日本銀行ノ狀態ヲ見マスルニ、御承知ノ通り預金ハ非常ニ減テ居ル、ソレカラ又彼ノ特別救済ノ爲ニ出シタ所ノ金ノ回收モ只今ノ所デ未ダ五億カ六億ニ近イモノガ滯ッテ居ルデアラウト思ヒマス、是ハ今後未ダ四五年經タナケレバ決濟ノ付カヌモノデアッテ、全ク固定シテ動キガ取レナイト思ヒマス、是ガ動キノ取レルヤウナ途モ講ジテヤラナケレバ日本銀行ガ相當ノ活動ガ出來マイト思フノデスガ、此固定シテ居ル、今後未ダ四五年モ掛ラナケレバ解決ノ付カヌモノニ對シテ、何等カノ解決法ヲ御考ヘニナッ

テ居リマスカ、又是ト同時ニ補償準備等ヲモウ少シ増加スル、増加スレバドノ位マデ確定デナクトモ、凡ソ此邊迄ハ増加シテヤタガ宜カラウト云フガ如キ、幾ラカ國民ノ上ニ於テ安心ノ道ヲ迎ヘルヤウナ御話ガ聽カルナラバ、大變私ハ仕合セト思ッテ居リマス

○國務大臣(高橋是清君) 只今御話ノ點ハ皆考慮シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ何レモ議會ノ協賛ヲ經ルコトモ起ッテ來マセウガ、實行ヲ先ニシテ行キマセヌト云フト、一時人心ヲ安心サセル爲ニ聲明迄モシテモ、サウ一々是ハ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラスト云フヤウナコトデ説明シテ居ル譯ニハ行カヌ、併シ今御話ノ點ハ皆考慮シテ居ル

○片岡直溫君 次ニ此減債基金繰入ニ對シテ伺ヒマスガ、是ハ法律案ヲ見マスレバ、六年度四千四百萬圓ヲ繰入レル、今御説明ヲ承リマスト永久的ニ必要ガアルカラ云々ト云フ御説明ガゴザイマスガ、六年度ニ限ラズ、六年度以後減債基金ハ是位ノ金額ハ御停止ニナル御考デアラウカト思ハレマスカ、果シテサウデアリマスカ

○國務大臣(高橋是清君) 此減債基金ノ繰入停止ハ能ク皆樣ガ永久的ト云フヤウナコ

トニ御考ヘニナッテ居ルヤウデアリマスガ、私ハサウ云フ考ハ少シモナイ、先ヅ一般歳入ノ増加ヲ圖ル、是ハ詰リ經濟界ガ好クナリ、農商工ノ稼グ人達ガ、稼イデ相當ノ利潤ヲ得ルヤウニナレバモット自ヅト普通歳入ハ殖エル傾向ヲ持ツモノデアリマス、サウ云フモノガ殖エテ、サウ云フ減債基金繰入停止ノ必要ナドノナクナルコトノ一日モ早ク來タルコトヲ私ハ希望シテ居ル、故ニ決シテ永久ノ意味デハナイ、其復活ガ出來レバ直グ復活シタイト云フコトハ考ヘテ居リマス、故ニ七年度ノ豫算ニ於テ今日デハ矢張り之ヲ繼續シテ行カネバナラスト斯ウ考ヘテ居リマス

○片岡直溫君 御趣意ハ分リマシタガ、私ノ最初カラ申上ゲテ居ル國民ノ不安ノ念ヲ幾分デモ去ラウト云フ目的ノ上カラ申シマス、經濟界ガ立直ッテ來タナラバ、止メルノダト云フガ如キコトハ、餘リニ範圍ガ廣過ギルト申シマスガ、漠然タリト申シマスカ、斯ウ云フ問題ハ寧ロ三年ナラ三年(二年ナラ二年ト何年迄ト云フ風ニナサタ方ガ安心ノ付クコトデアリマスカ、又其時ガ來テ止ムヲ得ザル場合ニ於テハ、又延期スルト云フ途モゴザイマセウガ、ドウモ斯ウ云フ停止法ガ先ノ決マリノナイト云

フガ如キコトハ公債ヲ所有シテ居ル者カラ見マスルト、其不安ノ念ガ解ケ憎イダラウト思フ

○國務大臣(高橋是清君) 年限ヲ付ケテヤッタコトモアリマスガ、此時ニハ將來ノ見込ガ付イタラ付ケル、今日デハソレガ何年迄デ是ガ付クト云フコトハ考ガ付キマセヌ、且又單リ民間ノ收入ガ殖エルコトノ見込ガ立チマセヌ爲ニ、一般歳入ニ於テ殖エルト云フコトハ最モ期待スル所デアリマスカ、其外ニ未ダ歳入ヲ圖ルト云フコトハ、手ヲ著ケルベキコトモアル、デ此一般ノ歳入ト歳出ト云フモノガ、出合フヤウニナレバ此減債基金繰入停止ト云フモノハ自ラナクナルト云フコトニナル、併シ今ノ所デハ其年限ハハツキリハ申サレマセヌ

○片岡直溫君 政府トシテハ御都合ノ好イ案ダラウト思ヒマスガ、ドウモ制限ナシニ斯樣ナコトハ一方公債ノ増加ノ傾向ト云フモノハ言フ迄モナク避ケラレナイノデアル、此公債ニ付テモ一通リ伺ッテ見タイト思ヒマスガ、今ヤ軍事ノ最中ト云フ方ヨリハ一段落ト申セルカモ知レマセヌガ、陸軍大臣、海軍大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、未ダ以テ安心スベカラズ、將來如何ニ變化スルカモ知レヌト云フト同時ニ非常ナル決

心ト覺情ヲ御持チノヤウデアリマス、誠ニ當然ノコトデアルト存ジマスガ、如何ニモ支那ノ國ヲ相手ノコトデアリマスカラ、玆ニハッキリシタ定メ方ノ付カヌコトハ是ハマア已ムヲ得ヌト存ジマス、サリナガラ滿洲方面ノ如キハ、新國家ヲ認メルトカ認メヌトカ云フガ如キ道行ハアルト致シマシテモ、先ヅ新國家ナルモノガ中心トナッテ、ソレヲ相手ニ事ヲ進メテ行クト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、サウスルト此方面ニ對シテ、或ハ防禦ト申シマスカ、保護ト申シマスカ、相當ノ兵備ニ係ル負擔ハ日本トシテモ確保シテ行カナケレバナラヌカト存ジマスガ、コレ等ニ對シテ凡ソ要スル費用、是モ公債ニ依ルヨリ外ニ途ガアリマスマイカラ、是等ノモノ及ビ、此五月マデノ豫算ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、其五月頃ノ臨時議會ニ……特別議會ト申シマスガ、其時ニハ伺ヘルコトデアリマセウガ、兎ニ角公債額ナルモノガ、軍事上大凡見込ノ付ク部分ノ金額ガドレ程、ソレカラ又産業政策ト云フガ如キ新ナル御抱負ガアルナラバ、ソレニ對シテ凡ソドレダケノ公債ヲ發行スル、詰リ今年ニ於テ非常特別ナルモノハ別トシテ現狀ノ上カラ言ヘバ、是ダケノ公債募集ハセナケレバナラヌト云フ

凡ソノ御見込ガアルデアラウト思ヒマスガ、ソレハ伺ハレマセヌデセウカ
○國務大臣(高橋是清君) 七年度ノ所謂實行豫算ニ付テ、マダ追加豫算ガ出マセヌガ、ソレ等ノコトハマダ各省カラスツカリ纏マツテ居リマセヌ、ドノ位ノ公債ヲ要スルカ……併シ公債ト申シマシテモサウ無制限ニ出ス譯ニモ行キマセヌ、先刻カラ御話ノ減債基金ノ四千四百萬圓ヲ一般會計カラ繰入レルノヲ中止スルノスラモ公債所有者ニ取ッテ不安ダト仰シヤル、其通りデアリマス、併シ此繰入ノコトハ公債發行ヲスル代リニ繰入ヲ止メタト云フニ過ギナイ、之ヲ若シ今日ノ場合繰入ヲスレバソレダケ公債ノ方ニ發行ヲシテ行カナケレバ財源ガナイト云フコトニナリマス、將來ニ於キマシテモ産業上、産業ヲ發展サセルト申シマシテモ、是ハ國家ガコレ……其資金ヲ供給スル、補助金ヲ供給スルト云フヤウナコトニ賴ラズシテ、國民自身銘々ノ業ニ就テ發展スル途ハ澤山アルノデス、ソレヲ唯指導シ獎勵シテ行クト云フ意味ニ於テ此産業ノ充實ヲ圖ルト云フ考カラ、ドノ位ノ公債ガ要ルカ、又軍事上ニ付テハ昨日モ申シタ通り、一箇年ドノ位カカルカ、始終變化ガアルモノデス、併シ現狀ノ所デ先ヅ一箇月千二百万

圓、是ガ千二百万圓デズト行クカ、減ルカ、殖エルカ、是ハ分リマセヌ、兎ニ角我國ノ今日ノ狀態デハ、國民トシテノ公債ヲ負フカト云フモノハ誠ニ少イ、預金部ノ郵便貯金ガ殖エテ來ル、是ハ全體云ヘバ地方ノ銀行ニアルベキ預金ガ入ッテ來タト云フ、別ニナイト思フ、ソレダケ地方ノ銀行モ難儀ヲシ、地方ヲ壓迫シテ居ル、併シ是トテモ限りガアル、預金部……ソレコレ考ヘテ見マス、公債ニ依ル、依ルト申シマシテモ、事實發行シテ應募スル者ノ力ガナケレバ是ハイカヌコトデアアル、之ニモ自ラ其處ニ制限ガ出テ來ル、財政ノ按排スルニ於テモ、其應募力ノナイモノニ對シテ公債ヲ發行スルト云フヤウナ無理ハシナイ積リデアリマス、左様ナコトニシテ、無理ヲスレバ今日一億ノ公債ヲ發行センガ爲ニ、斯ウ云フ場合デスカラ、何レモ期限ガ短イ、或ハ條件ガ應募者ニ利益ガアル條件ト云フコトニナッテ、一億ノ公債ハサウ云フコトヲ願ミナケレバ出來ヌカ知ラヌケレドモ、既ニ出テ居ル所ノ三十何億、四十億ト云フヤウナサウ云フ公債ガ既ニソレニ影響ヲ受ケテ値ガ下ルノデスカラ、多數ノ公債所有者ガ公債ト云フモノニ信用ヲ失フコトニナル、其處マデ公債ヲ發行スルト云フコトハ

ドウモ宜シクナイト思フ、ソレデスカラ、此産業ヲ助長サセル、或ハ軍事公債ヲ募集シテモ、是ハ愈々宣戰布告デモアッデ軍サトナレバ、是ハ非常時ノ、別デアリマス、併ナガラ斯ウ云フ非常時デナイ今日ニ於テハ假令軍事ニ必要ノ公債ト雖モ、或ハ軍需品ヲ充實スルト云フヤウ計畫ガアルトシマシテモ、之ヲ一年デヤルモノヲ、力ガ無ケレバ之ヲ二年、三年ニシテヤラニヤナラヌト云フヤウナ事情ハ起リ得ベキコトガラウト考ヘマス、ソレデ當局トシテハドウモ無理ニ公債ヲ發行スレバ金ガ出來ルト云フヤウナ考ハ持ッテ居マスノデアリマス、出來ナイノデス、害ナクシテハ出來マセヌ

○片岡直溫君 今ノ大藏大臣ノ御言葉ハ私

ハ頗ル喜バシク受取ッタノデアリマス、念ノ爲ニモウツ申上ゲテ置キマスガ、今日ノ市場ノ關係ヲ、様子ヲ見マス、サウ多額ノ公債ニ應募スル力ノ無イト云フコトハ、是ハ大藏大臣ト雖モ御認メニナッテ居ルト思ヒマス、併ナガラ又是ハ國民ノ覺悟ノ仕方ニ依ッテ銀行ノ外ニ於テ應募力ガ多少出テ來ルト云フガ如キコトハアリ得ルトハ思ヒマスガ、大體ニ於テ民間ニ於テ應募力ハ良クナイ、サウスルト多額ノ公債ヲ發行スレバ據ロナイ、日本銀行ハ之ヲ背負ヒ

込マナケレバナラヌ、背負ヒ込メバ所謂制限外發行ヲ行フ所デアル、依テ不換紙幣ノ増發ニナル、其増發ハ各方面ニ於テ非常ニ忌ムベキ影響ヲ及ボスコトハ、避ケラレナイ、ソレ故ニ公債ヲ成ルベク募集シナイト云フ御考ハ應募力ガ有ル時ハ別、無イモノヲ無理ニハヤラス、斯ウ云フ考デアルトスレバ、民間ニ應募力ガ無イ、ソレヲ日本銀行ニドシ、背負ヒ込マシメル、サウ云フコトハ繰返スコトハシナイ、斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○國務大臣(高橋是清君) 日本銀行ガ公債ヲ發行シ、ソレガ爲ニ兌換券ガ殖エル、是ハ他ニ於テ忌ムベキ結果ヲ生ズルト仰シヤルガ、ソコハ私ト見解ガ違フ、日本銀行ヲシテ兌換ガ殖エルト云フ、其殖エ方ガ、其兌換ガドウ云フ方面ニ働クカト云フコトガ問題ダ、先刻モ申ス通り農商工業ノ發展ノ爲ニ兌換、通貨ヲ必要トスル、ソレニ對シテハ遠慮ナク出シテ差支ナイ、唯今日ノ人生デ投機思惑ヲ絶無ニスル譯ニ行カナイ、併ナガラ取引所ハサウ云フ思惑ヲスル機會ヲ與ヘル點ニ於テ相當ノマダ改善ノ途モアルダラウト考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ金ガ主ニ働カナイデ、實際ノ商工業ノ經營ノ上ニ必要ナ金ハ十分ニ滿タシテヤリタ

イ、サウシテ此軍事ノ爲ノ公債ニシテモ、事業公債ハ勿論、ソレガ爲ニ日本銀行ノ通貨ノ殖エルト云フコトハ、唯其通貨ノ殖エタモノガ如何ニ使ハレルカト云フコトガ問題デアリマス、殖エルト云フコトヲ私ハ餘リ心配ハシテ居ラス、却テ今日ノ場合ニ於テハモット殖エナケレバナラヌト思ヒマス

○片岡直溫君 今ノ御答辯ニ依リマス、之ヲ繰返スト所謂議論ニナル惧レガアルカモ知リマセヌガ、日本銀行ガ公債ヲ背負ヒ込ンデ兌換券ヲ發行シテ、制限外ヲ發行シテ之ニ應募スル、其結果、其金ガ生産的ニ行キサヘスレバ宜イ、是ハ理窟トシテ其通り私モ異議ハナイ、トコロガ民間ノ市中ノ銀行ナルモノニハ金ヲ貸ス力ハ無イ、今ハ貸サナイ、預金モ無イ、其銀行ノ狀態ヲ能ク整ヘテ而シテ後ナラバ兎モ角、現在ニ於テ日本銀行ガ之ニ公債ヲ應募シテ紙幣ヲ増加シタト云フ金ガ産業的ノモノニ行キサヘスレバ宜イトハ仰シヤルガ、行カセル途ガ何カ付キマスカ

シ、聯絡モナイト云フコトヲ申シタノハソレナンデス、ソレハ考慮シテ居リマス、ソレカラ日本銀行ノ出シタ兌換券、此兌換券ガ直接ニ各銀行ニ行クト云フ譯デヤナイ、軍事上ニ要スル公債ヲ日本銀行ガ持つ、ソレハ軍事ノ爲ニ用キラレル、サウスレバ軍需品ヤ何カノ代金トナテ是ガ拂ハレル、其拂ヒ受ケル者ハ所謂製造人及商賣人デア

○國務大臣(高橋是清君) 先刻モ申ス通り、第一番ニ必要ダト云フノハ金融制度デスナ、通貨制度デス、ソレ故ニ是ハ私モ考慮ニ入レテ居ルコトヲ申シタ、日本銀行其他ノ銀行ノ銀行トシテ金融上ノ統制モナ

ニ地方ノ銀行ノ整理ヲ段々付ケ、中央銀行トノ聯絡ヲ保ツコトヲ急ニナサテ、サウシテ傍ラ必要ニ應ズル公債等ノコトヲシテ行ク、斯ウ解釋シテ宜シイデスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 他ニ御質問ガゴザイマセヌカ、御質問ガゴザイマセヌケレバ討論ニ入リタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌケレバ討論ニ入リマス、勿論付託サレマシタ議案全部一括シテ問題ニナ

テ居リマス

○馬場鑓一君 法律案ハ之ヲ可決シ、其他ノ勅令案ハ承諾ヲ與フベシト云フコトニ致シタイ

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ別ニ討論ノ御議論モゴザイマセヌカラ採決ヲ致シマス、全體ニ對シテ反對ノ方ノ起立ヲ願ヒマス、全部可決スベシト云フ方ノ起立ヲ願ヒマス

〔承諾ノ分モアリマス〕ト呼フ者アリ
○委員長(伯爵林博太郎君) 承諾スベシト云フ方ノ起立ヲ願ヒマス

議員起立

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ全會一致ヲ以テ承認スルコトニ相成リマシタ、是デ特別委員會ヲ散會イタシマス

午前十一時二十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 大島 健一君
委員

侯爵佐佐木行忠君
侯爵松平 康昌君
子爵青木 信光君
子爵井上匡四郎君
子爵立花 種忠君

男爵松井慶四郎君

内田 嘉吉君

内田 重成君

男爵千田 嘉平君

男爵郷 誠之助君

男爵小畑大太郎君

片岡 直溫君

馬場 鏑一君

林 平四郎君

磯村豐太郎君

本間千代吉君

國務大臣

大藏大臣 高橋 是清君

外務大臣 芳澤 謙吉君

政府委員

内閣書記官長 森 恪君

法制局長官 島田 俊雄君

法制局參事官 黑崎 定三君

同 金森德次郎君

外務政務次官子爵 岩城 隆德君

外務省通商局長 武富 敏彦君

外務書記官 松宮 順君

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏參與官 太田 正孝君

大藏省主計局長 藤井 真信君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

大藏書記官 川崎 丈雄君

陸軍政務次官 若宮 貞夫君

陸軍參與官子爵 土岐 章君

陸軍主計監 小野寺長治郎君

陸軍少將 山岡 重厚君

陸軍一等主計正 大内球三郎君

海軍參與官 西村 茂生君

海軍主計中將 加藤 亮一君

海軍少將 豐田貞次郎君

拓務政務次官 加藤久米四郎君

拓務書記官 杉田 芳郎君

關東廳財務部長 西山 左内君

昭和七年三月二十四日印刷

昭和七年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局